

アクセス方法
 <電車>
 JR中央本線「新宿駅」→「山梨市駅」(約1時間30分)
 →山梨市営バス「西沢渓谷線」「山梨市駅」→「乾徳山登山口」(約30分)
 <車>
 中央自動車道「調布IC」→「勝沼IC」(約1時間)
 →国道140号線→県道209号線 徳和登山口(約45分)

memo



小さな旅

～こころのふるさとをみつめて～

コブック vol. 165

祈りの岩峰
 ～山梨県 乾徳山～

2014年11月16日(日)放送

小さな旅 ホームページ
<http://nhk.jp/kotabi>



修験の山としても知られる乾徳山。ふもとにある名刹・恵林寺は、乾徳山を山号とするなど、深いかかわりを持っています。それは、恵林寺を開いた鎌倉時代の禅僧・夢窓国師が乾徳山で座禅の修行をしたと伝えられています。今は山崩れを防ぐために、山頂からさらに先へと進んだ岩壁にあり、「夢窓国師座禅窟」と呼ばれています。今も恵林寺の住職はその場所を訪れ、祈りをささげています。

夢窓国師座禅窟

旅の見どころ 3



乾徳山の魅力は、山頂付近の岩場。多くの登山者は、岩登りを目的に訪れます。登山道にはここ所の岩場があり、そのひこは、高さ20メートルほどもあります。また、山の石は、「乾徳石」と呼ばれ、各地の日本庭園の庭石としても利用されています。今は山崩れを防ぐために、石を運び出すことはできませんが、長い年月をかけてできた趣ある、そのたゞずまいを楽しむために訪れる人もいます。

乾徳石

旅の見どころ 2

甲府盆地を見守るようにそびえる山梨県の乾徳山(標高2,031メートル)。

多くの登山者をひきつけるのは岩場。この季節、険しい岩場を登ったり、色づいた紅葉の木々と岩の織り成す景色を楽しもうと登山者が訪れます。岩上に魅せられ、山に通い続けるのは、お城の石垣などを組む「石匠」(せきしょう)と呼ばれる職人。古くから修験の場でもあった乾徳山には、祈りの声が響きます。歴史ある岩山に集う人たちに出会う旅です。



旅の見どころ 1

甲府盆地を見守る乾徳山

山梨県の中央にある甲府盆地。見守るようにそびえる山が、乾徳山です。山梨市にあり標高は2,031メートル。山頂付近には険しい岩場が連なり、古くから山岳信仰の修験者たちが訪れた祈りの山です。10月半ば頃には中腹にかけ、紅葉に彩られ、岩と織り成すその景色を楽しもうと、週末ともなれば多くの登山者でにぎわいます。また、乾徳山からは澄んだ水が湧き出しており、ふもとの集落では水道水として使っています。

